

仲谷鈴代記念賞

衛生管理の基本は手洗いから ～手洗いチェッカーを使用して～

大阪府泉佐野保健所管内給食研究会

この度は、第19回大阪府栄養士会研究発表会において「仲谷鈴代記念賞」を受賞させていただきました。誠にありがとうございました。

今回は「衛生管理の基本は手洗いから～手洗いチェッカーを使用して～」という内容で発表させていただきました。

当給食研究会では、食中毒・感染症予防を重点項目に掲げ、その対策として洗い残しが目で見えてわかる「手洗いチェッカー」を使用した「見える化運動」を推進し、会員施設の手洗い状況の把握・個人の手洗いの意識向上を目的に取り組んでいます。

「手洗いチェッカー」を会員90施設に巡回させ、所定の手指のイラスト入り記録用紙に結果を記録・保存してもらっています。

その結果、記録を残す事で手洗いの状況がよく分かり、意識アンケートの結果では巡回使用する事により手洗いの意識継続が出来ると確認

されました。

当給食研究会は病院、福祉施設、学校、事業所、給食会社等様々な施設が所属しています。

分野は違いますが、手洗いを基本とする衛生管理はすべての施設に共通する課題で、全施設で取り組むことにより情報が共有され、会員同士が日常でも相談・協力しやすい環境が構築できているのではないかと思います。それを評価して頂いたのは大変光栄な事であり、この取り組みを継続していく中での大きな励みになると思います。

また今回の受賞を機に、会員一同自己研鑽に励み、給食研究会として健康増進に寄与できるよう活動を続けていきたいと思っています。

今回の発表にあたり、お忙しい中資料作りにご協力いただいた役員の皆様、ご推薦いただきました座長の先生をはじめ関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

仲谷鈴代記念賞

外来維持透析クリニックにおけるNST活動報告

萌生会 大道クリニック 長谷川民子

この度は仲谷鈴代記念賞をいただきまして誠に有難うございました。新しく新設されたこの賞をいただけたこと大変に喜ばしく光栄に思っております。今回、維持透析クリニックである当院のNST活動が5年を迎えたことを機会に、研究発表をさせていただきました。

当院は外来を専門としている為、NST活動といっても、ほとんどがご自宅での自己管理に頼らざるを得ないのが状況です。また、慢性の疾患で症状が出にくく、結果や評価がわかりにくいといった特徴があります。そんな中、当時の院長発案でNST委員会が発足した時は、他職種からは「何をするのかわからない」と言ったようなコメントも出ていました。

当初の活動は、管理栄養士の栄養相談報告といった一方的な内容でありました。それを多職種から意見が出やすいように形式を変更し続けてきました。この5年間は管理栄養士として、透析者の方々に対してNSTが介入することでプラ

スになることがあるか、多職種の協力や理解が得られるかを模索し続けた期間だったと感じています。それが出来たのかは、まだ答えが出ていないかもしれませんが、しかし、透析者においては体重減少を止められた方、食事に対して前向きに取り組めるようになった方など個々に改善される例も経験してきました。当初と比べると、多職種からの意見が出る環境も整ってきたと感じています。しかし、改善することが出来ずに涙を飲んだ症例があったことも事実です。その経験を通じて、やはり早期に介入することの重要性を強く感じています。今後の方向性としては、多職種でさらに早期的な対応ができるように、現在の方式に囚われずに様々な改革を行っていきたくと考えております。若輩ながら、今後ともご指導賜りますよう宜しくお願い致します。

最後になりましたが、ご協力いただきました関係者の皆様、ご推薦いただきました座長の先生に改めて御礼を申し上げます。

仲谷鈴代記念賞

癌化学療法に伴う食欲低下改善目的のため、 選択食導入による効果と今後の課題

(公財) 日本生命済生会附属日生病院 出口暁子

この度、仲谷鈴代記念賞を頂きました事を深く感謝申し上げます。

癌、生活習慣病の患者様が増え続ける昨今で、医療機関で管理栄養士として従事している立場から感じることは、今こそ私たちの実力が発揮できる時ではないかと、合併症予防・寝たきり予防・増悪改善のための栄養管理や栄養指導が、その患者個々の生活に寄り添ったものであることを、常に念頭に置きながら取り組んでいます。

今回の研究発表の内容では、癌の罹患率が2人に1人と患者数が多く、闘病生活において、精神的・肉体的に過酷な状況下におかれている中、少しでも体力回復、食欲改善、楽しみ増となればと取り組みました。個人差が大きい病態です。なかなか自分が考えているような結果が得

られるのは、困難ではあると思いますが、まず元気・食欲を取り戻して精神的なフォローになり、今後も選択メニューが希望に添えるようにと、取り組みは続けていきたいと思っています。

また、生活習慣病は社会環境の変化により、発症が高齢化および低年齢化し、患者増と増悪している現状です。日々期待される管理栄養士であるように、資質向上を行っていきます。

今後も、このような立派な賞に恥じないように精進してまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りたいと思います。宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、ご推薦して頂いた先生はじめ、栄養士会の役員の方々には、深く御礼申し上げます。